

2003年10月30日

2004年3月期
中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス(株)

2004年3月期 中間期 業績

(単位:百万円)

科目	2003年3月期中間期		2004年3月期中間期		増減率 (%)
		百分比(%)		百分比(%)	
売上高	38,051	100.0	40,454	100.0	6.3
売上総利益	4,830	12.7	5,426	13.4	12.3
営業利益	1,233	3.2	1,349	3.3	9.4
経常利益	1,000	2.6	1,187	2.9	18.7
中間純利益	563	1.5	686	1.7	21.9
1株当たり中間純利益	35,211.63円		29,854.62円		

2004年3月期 中間期 資産

(単位:百万円)

科目	2003年3月期	2004年3月期 中間期	増減額
現預金	483	820	337
受取手形・売掛金	19,889	19,646	243
たな卸資産	11,004	12,943	1,939
その他流動資産	685	458	227
有形固定資産	326	327	1
無形固定資産	568	469	98
投資その他の資産	2,083	1,903	179
資産計	35,041	36,569	1,527

2004年3月期 中間期 負債・資本

(単位:百万円)

科 目	2003年3月期	2004年3月期 中間期	増減額
買掛金	5,948	7,184	1,235
短期借入金	4,500	4,500	
その他流動負債	2,384	2,056	327
長期借入金	8,000	8,000	
その他固定負債	2,604	2,851	247
負債計	23,437	24,592	1,155
資本金	2,495	2,495	
資本剰余金	2,054	2,054	
利益剰余金	7,053	7,426	372
資本計	11,603	11,976	372
負債・資本計	35,041	36,569	1,527

2004年3月期 中間期 キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

科 目	2003年3月期 中間期	2004年3月期 中間期	増減額
営業キャッシュ・フロー	301	730	1,031
投資キャッシュ・フロー	110	93	16
財務キャッシュ・フロー	1,169	299	1,468
換算差額	0.2	0.4	0.6
現金等の増減額	758	337	421

2004年3月期 中間期 品目別売上高

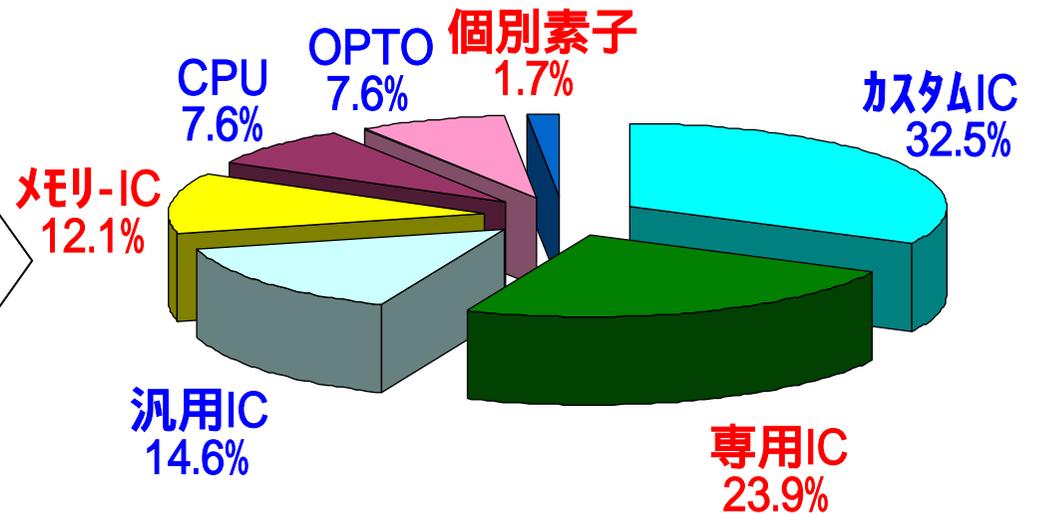
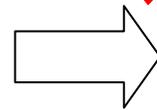
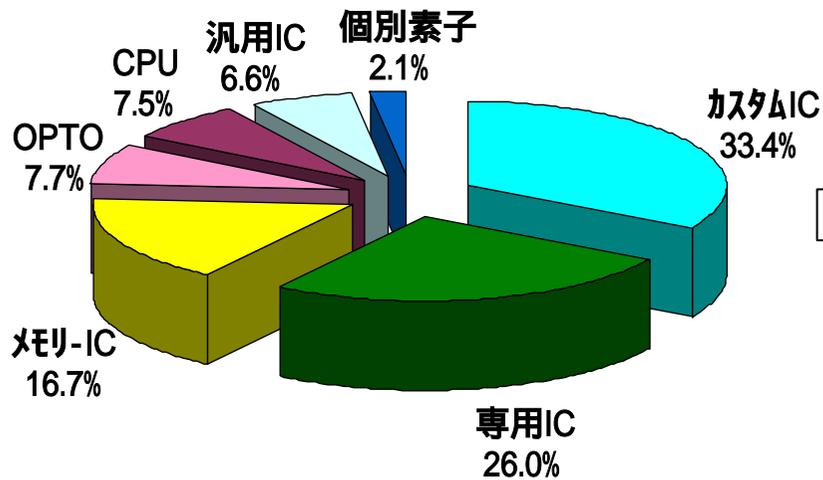
(単位:百万円)

品 目	2003年3月期 中間期		2004年3月期 中間期		増減額
	売上高	構成比%	売上高	構成比%	
半導体製品	33,388	87.7	35,688	88.2	2,300
ボード製品	1,537	4.0	1,810	4.5	272
ソフトウェア	1,394	3.7	1,413	3.5	19
一般電子部品	1,732	4.6	1,542	3.8	189
合 計	38,051	100.0	40,454	100.0	2,402

2004年3月期 中間期 半導体製品売上構成比

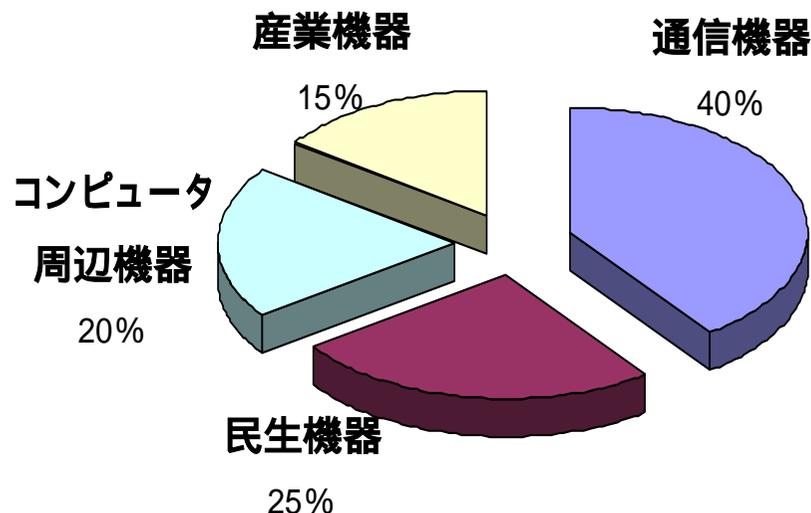
< 2003年3月期中間期 >

< 2004年3月期中間期 >

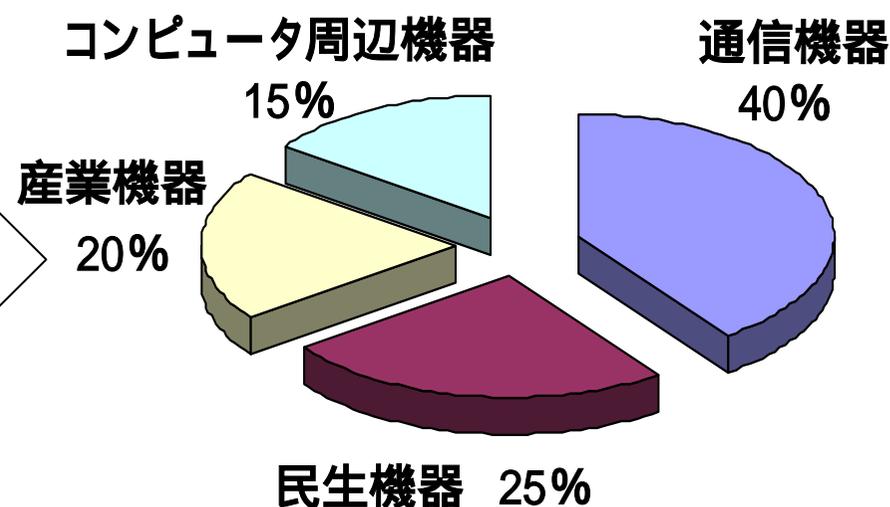


2004年3月期 中間期 用途別売上構成比

< 2003年3月期中間期 >



< 2004年3月期中間期 >

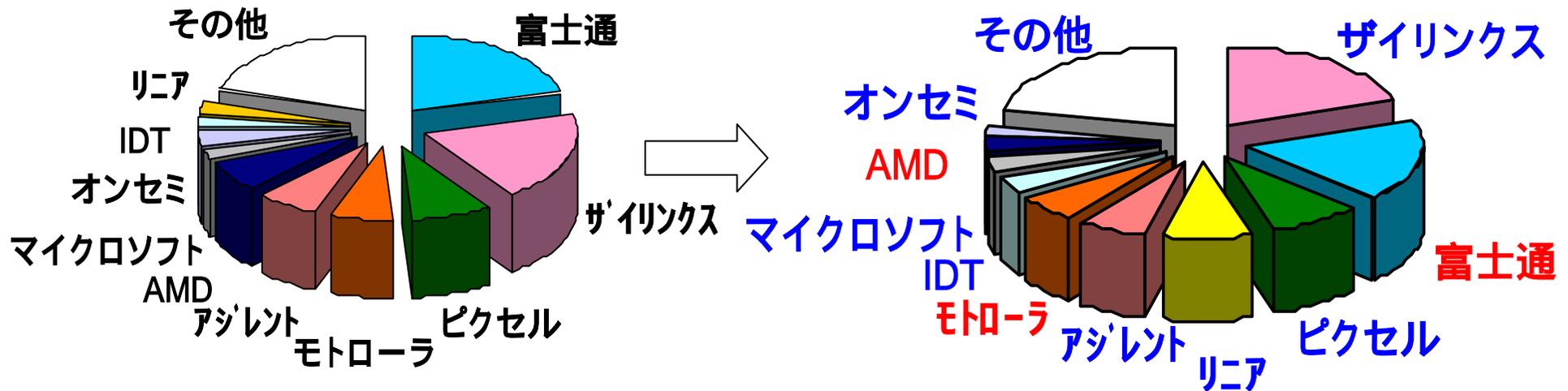


用途	主なアプリケーション
通信機器	ターミナルアダプタ、ケーブルモデム、携帯電話、ルーター、交換機、基地局
民生機器	デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、チューナー、液晶テレビ、PDPテレビ、DVD、STB
産業機器	計測器、セキュリティ監視機器、医療機器、チップマウンタ、半導体製造装置
コンピュータ周辺機器	プリンター、スキャナー、プロジェクター、POS、PC、ワークステーション、汎用コンピュータ

2004年3月期 中間期 商品別売上構成比

< 2003年3月期中間期 >

< 2004年3月期中間期 >



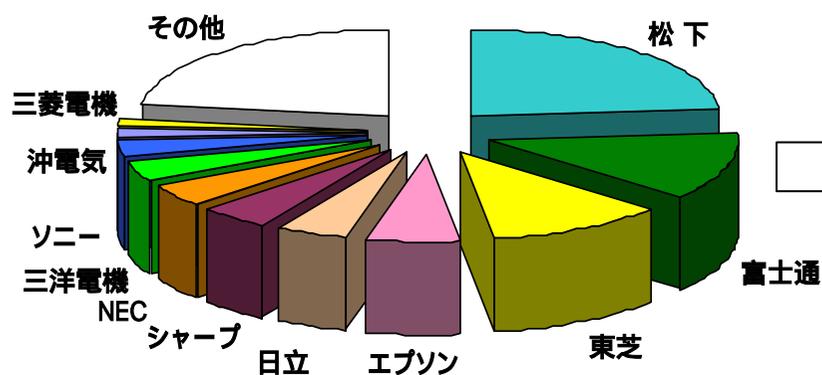
注) 社名は略称を使用しています

2004年3月期 中間期 主要商品別売上増減要因

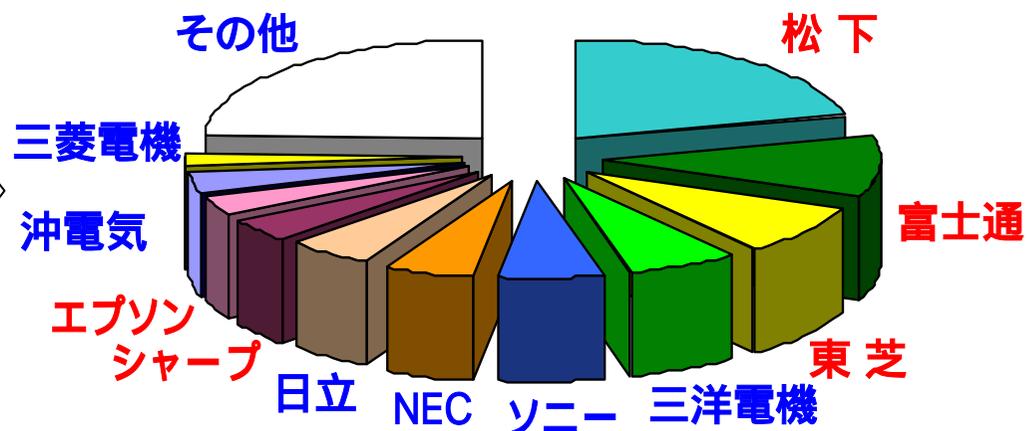
仕入先名	増減率	要 因
ザイリンクス社	8%増	中国向け携帯電話基地局増加
富士通(株)	11%減	携帯電話向けメモリ減少
ピクセルワークス社	5%増	液晶テレビ向け増加
リニアテクノロジー社	280%増	販権拡大
アジレント・テクノロジー社	4%増	携帯電話端末向け増加
モトローラ社	11%減	通信設備投資低迷
開発ビジネス・自社製品	13%増	設計受託案件増加

2004年3月期 中間期 顧客別売上構成比

< 2003年3月期中間期 >



< 2004年3月期中間期 >



注) 社名は略称を使用しています

トピックス

◆株式分割

株式分割比率 : 1:2(1株 2株)

割当て基準日 : 2003年9月30日

◆コーポレートガバナンス施策

報酬委員会、指名委員会設置(7月)

執行役員2名増員(10月)

◆セールスオフィス設置(10月)

長岡サテライトオフィス、岡山サテライトオフィス



今期の業績予想について



当社を取巻く市場の動向

2003年4月28日発表時からの変化

< ポジティブサイド >

1. デジタルコンシューマ向け製品
地上波デジタル放送関連
映像コンテンツ関連
カーエレクトロニクス関連

2. 携帯電話

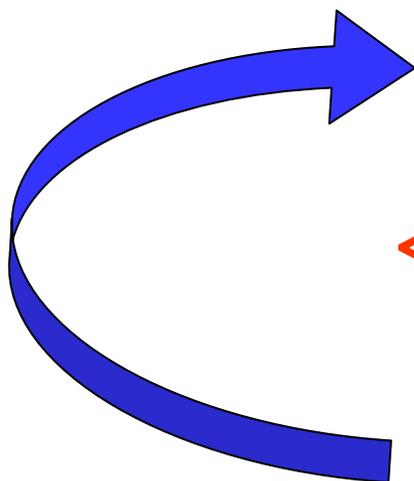
3. 中国向け通信インフラ

< ネガティブサイド >

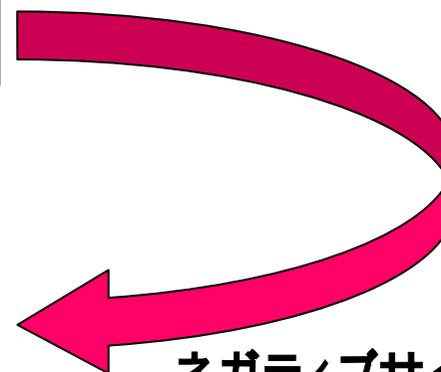
1. 基幹系通信インフラ

2. 産業機器

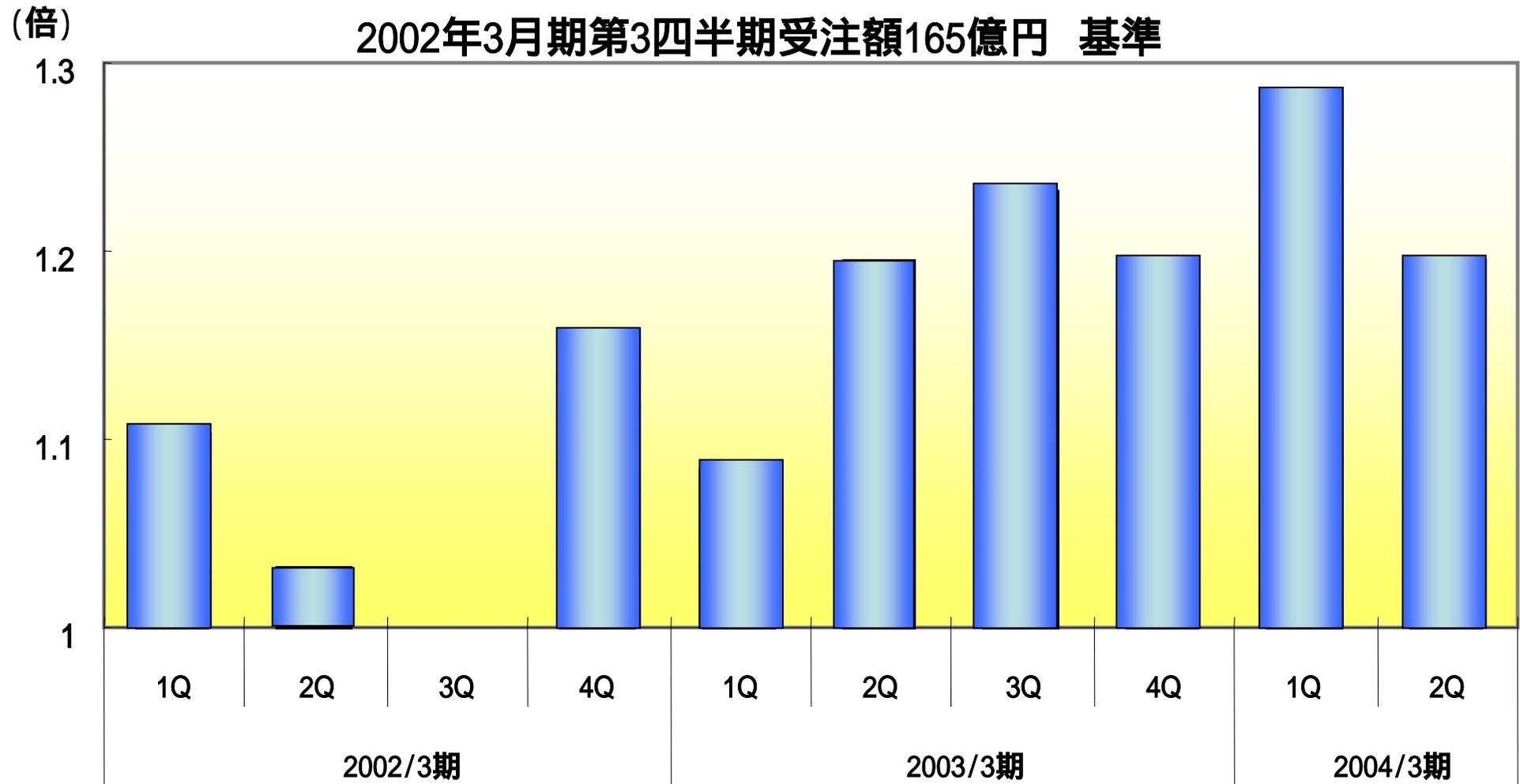
ポジティブサイドへ



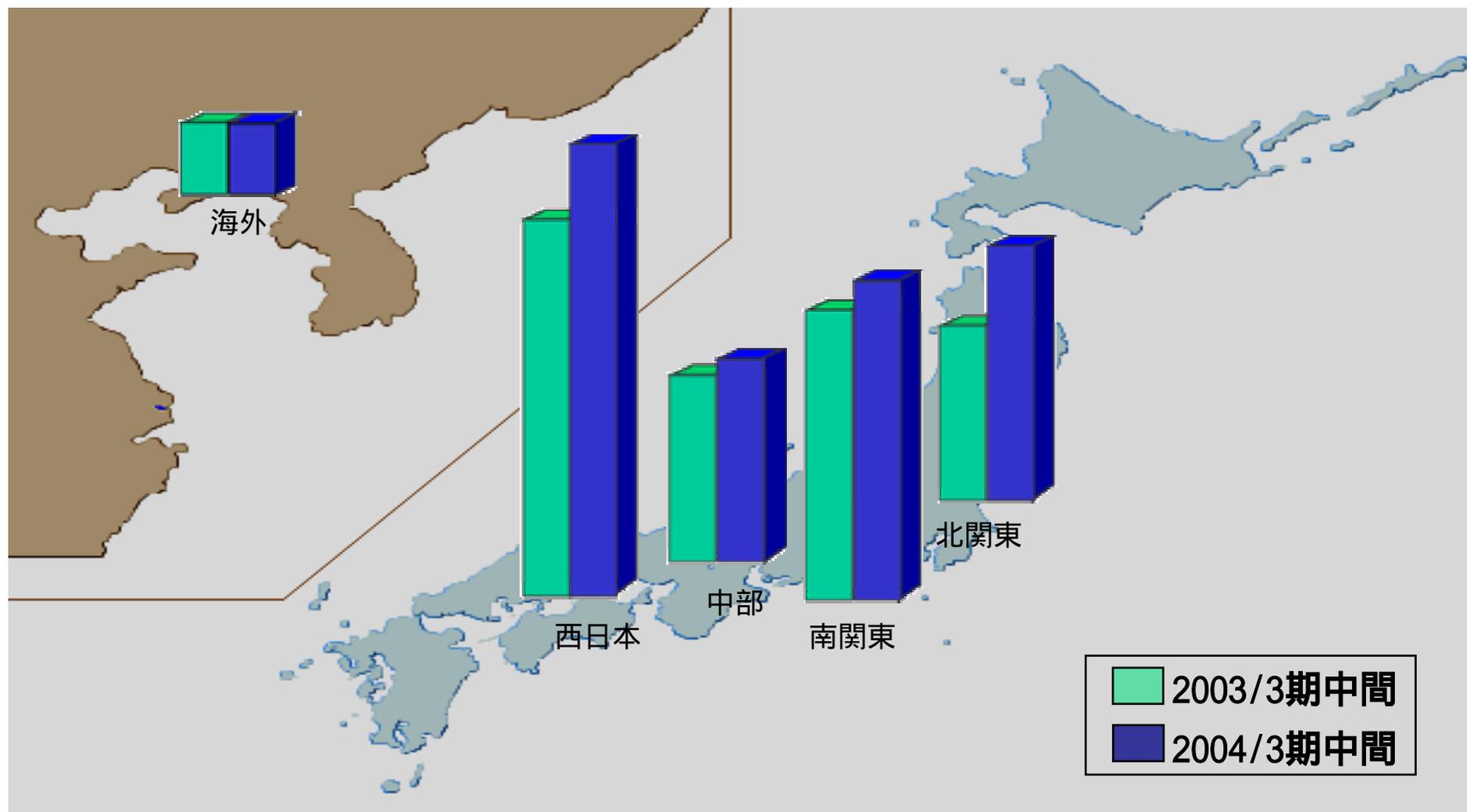
ネガティブサイドへ



受注变化推移



営業拠点別売上構成

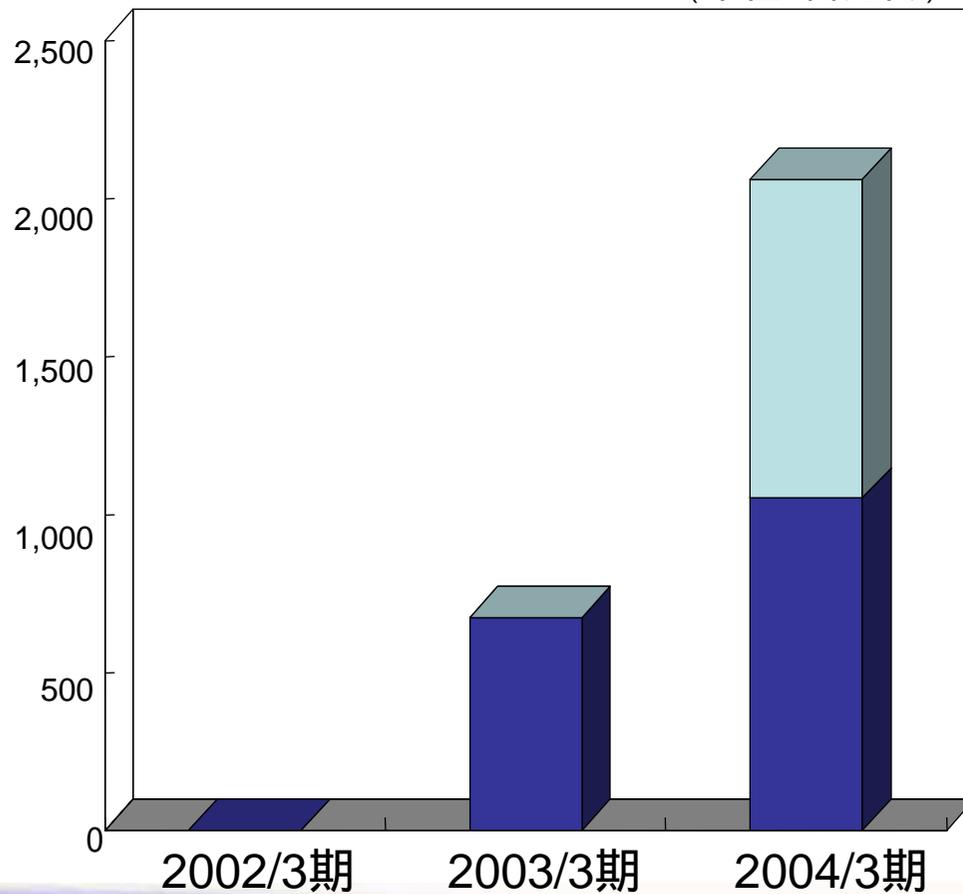


新規商品売上高推移

テキサス・インスツルメンツ (TI) 社

(2002年取引開始)

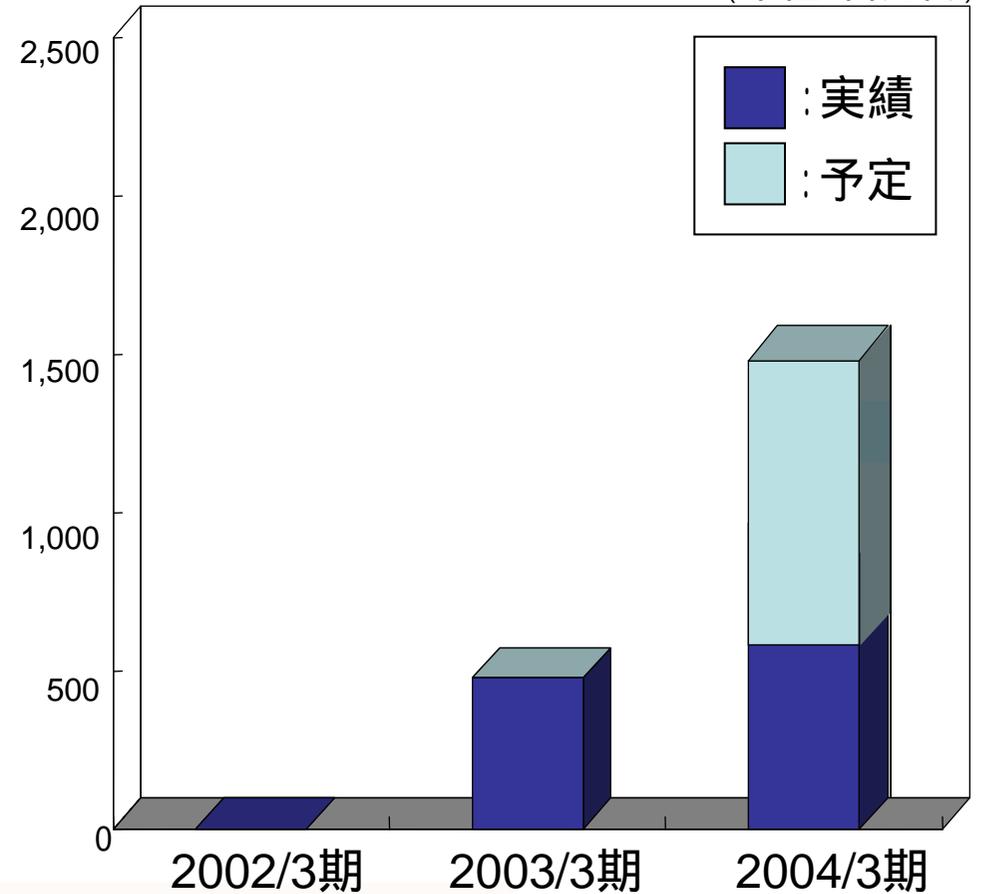
(単位:百万円)



インフィオン社

(2002年取引開始)

(単位:百万円)



2004年3月期 下期 主要商品増減見込み

仕入先名	下期増減 (上期比)
ザイリンクス社	9%
富士通(株)	4%
ピクセルワークス社	18%
リニアテクノロジー社	13%
アジレント・テクノロジー社	9%
モトローラ社	2%
開発ビジネス・自社製品	19%

上記売上見込みは、各サプライヤーの業績には連動いたしません。

2004年3月期 業績予想

(単位:百万円)

科 目	2003年3月期 通期	2004年3月期 通期予想	通期対前年 増減率
売上高	78,811	83,000	5%
経常利益	2,574	2,800	9%
当期純利益	1,423	1,590	12%
1株当たり当期純利益	84,950.33円	34,565.22円	
R O E	15.7%	13.1%	

* 2004年3月期の1株当たり当期純利益は株式分割後の株式数(46,000株)により算出

今期の活動方針

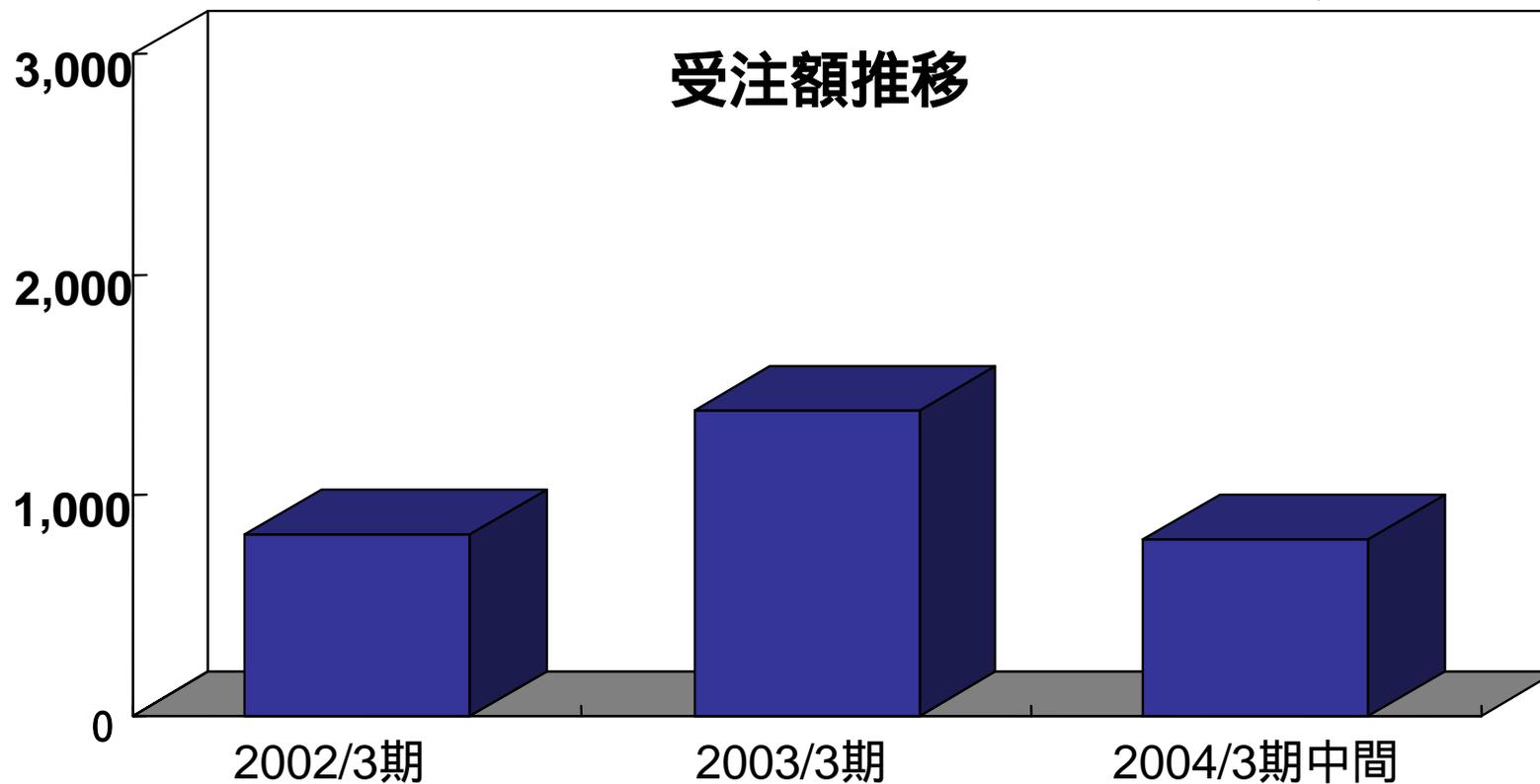
- 開発ビジネスの拡大
- 技術サポートによる高付加価値商品の推進
- デジタルコンシューマ市場向け商品に注力
- 技術商社に適した組織・運営の推進

今期活動方針の進捗状況(1)

開発ビジネス(1/2)

< 設計受託業務(デザインサービス) >

(単位:百万円)

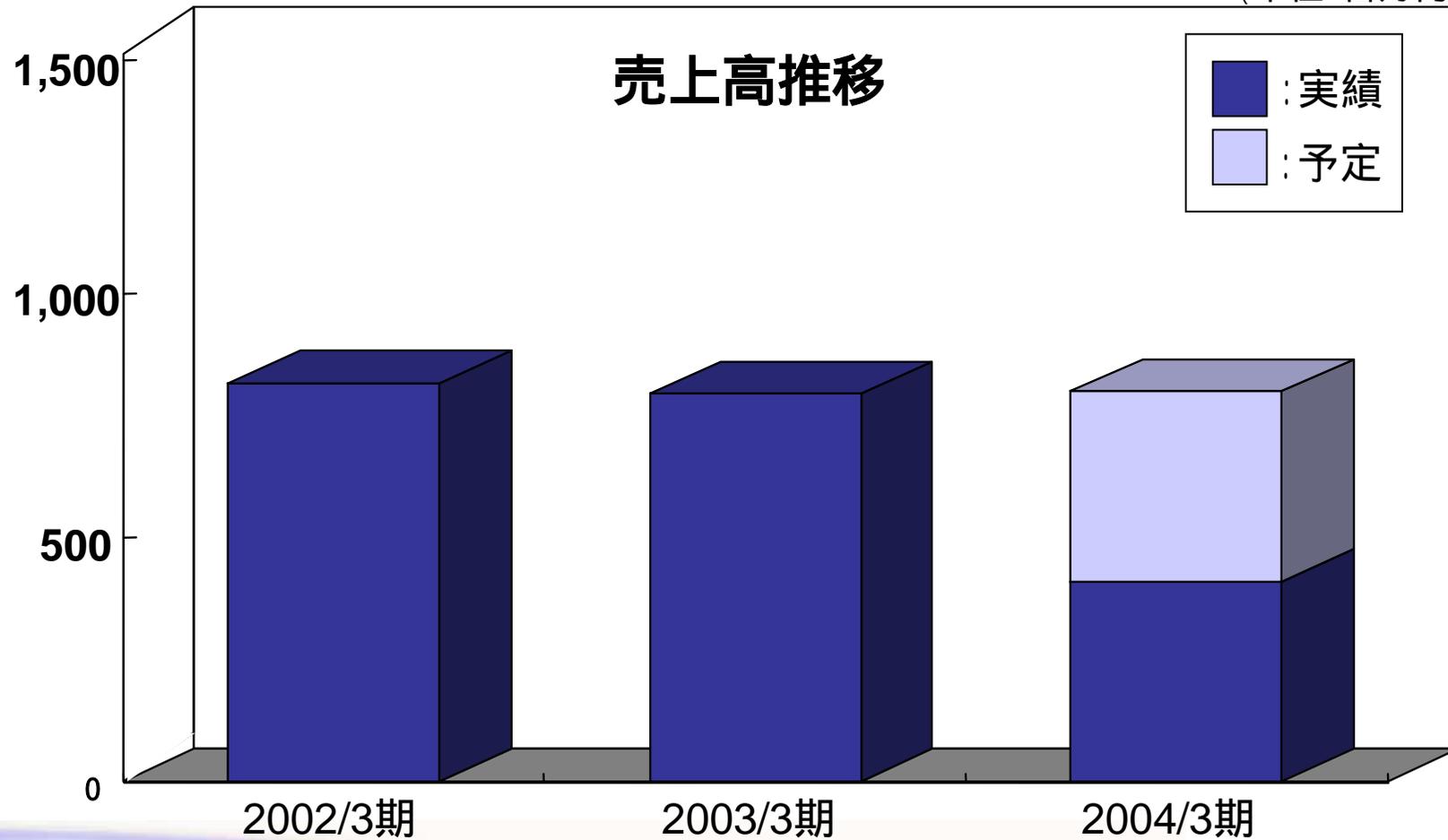


今期活動方針の進捗状況(1)

開発ビジネス(2/2)

< 自 社 製 品 >

(単位:百万円)



今期活動方針の進捗状況(2)

技術サポートによる高付加価値商品の推進

- ・カスタムIC 売上高4億円増加(前中間期比)

デジタルコンシューマ市場向け商品に注力

< 採用実績 >

- ・富士フイルムマイクロデバイス(株)(画像処理用IC)
大画面テレビ、PDPテレビ
- ・富士通(株)(ASIC)
液晶テレビ、PDPテレビ、デジタルビデオカメラ

資料取扱い上の注意

このプレゼンテーションで述べられている将来の当社事業に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。

当社の参画するエレクトロニクス業界は変化のスピードが大変速く、また、世界経済、半導体市況など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、今後当社の業績見通しが本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおきください。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。